

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日
上場取引所 東

上場会社名 Mipox株式会社
 コード番号 5381 URL <http://www.mipox.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 有田 裕一郎 (TEL) 03-6911-2300
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,237	△7.6	255	—	123	—	△56	—
2020年3月期第3四半期	5,666	△1.6	△106	—	△119	—	△196	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △252百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△4.74	—
2020年3月期第3四半期	△16.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,934	4,138	37.8
2020年3月期	11,033	4,107	37.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 4,138百万円 2020年3月期 4,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2021年2月12日)公表しました「2021年3月期通期業績予想及び配当予想(無配)の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	△3.2	300	—	110	—	△50	—	△4.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2021年2月12日)公表しました「2021年3月期通期業績予想及び配当予想(無配)の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	12,081,920株	2020年3月期	12,081,920株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	212,450株	2020年3月期	281,706株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	11,841,775株	2020年3月期3Q	11,807,324株

※自己株式数は、信託口が所有する当社株式 2020年3月期92,600株、2021年3月期3Q 23,300株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞から一時的に持ち直しの動きがみられたものの、消費マインドは低迷しており、設備投資の減退も見られるなど、依然先行き不透明な状況が続いています。また、為替相場については、欧米などで当該感染症が再拡大したことに加え、米国での長期金利低下や金融緩和策によるドル需給の緩和などから、円高ドル安傾向で推移したことで、平均為替レートは前年同期間と比べ円高となりました。

半導体市場は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのテレワークやリモート会議等に対するシステム需要に伴うデータセンター及びPC向けの需要増加により、ハードディスク、光ファイバーともに市況は依然堅調に推移したことに加え、自動車及び部品向けの需要に若干の回復の兆しが見られました。

今後の景気の先行きについては、国内の動向の他、米国をはじめとする世界経済の動向や米中通商問題、金融資本市場の変動可能性等も合わせて留意する必要があります。

このような中、期初に掲げた構造改革の更なる深堀りを進め、営業拠点のホームオフィス化等による経費の削減、収益改善を図るとともにお客様との情報共有による精緻な生産調整、設備投資計画の見直し、本社や国内外グループのテレワークの環境整備等による業務の効率化を図り、間接部門を含めた生産性の向上を実現してきたことにより、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は52億37百万円(前年同期比7.6%減)、営業利益は2億55百万円(前年同期は営業損失1億6百万円)、経常利益は1億23百万円(前年同期は経常損失1億19百万円)と減収増益となった一方で、固定資産の減損損失計上により、親会社株主に帰属する四半期純損失は56百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億96百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

・製品事業

製品事業の売上高は46億71百万円(前年同期比11.3%減)、セグメント利益は2億63百万円(前年同期比444.8%増)となりました。日本研紙製品の売上が減少した一方で、光ファイバー及びハードディスク関連市場の売上が増加し、相対的に利益率の高い製品の売上構成が高まったこと等により減収増益となりました。

・受託事業

受託事業の売上高は5億66百万円(前年同期比40.8%増)、セグメント損失は7百万円(前年同期は1億55百万円のセグメント損失)となりました。半導体関連の受託研磨の需要増が主要因で売上が増加したことに加え、製品事業と受託事業の両事業に係る固定費の削減等により増収損失の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は109億34百万円となり、前連結会計年度末に比べて99百万円減少いたしました。主な内容は、減損損失1億36百万円の計上に伴う固定資産の減少等であります。

(負債)

負債は67億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億30百万円減少いたしました。主な内容は、支払手形及び買掛金の減少1億41百万円、未払金の減少2億35百万円、1年内償還予定の社債の減少39百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加2億6百万円、賞与引当金の減少72百万円、関係会社整理損失引当金の減少1億5百万円、社債の減少1億60百万円、長期借入金の増加6億69百万円等であります。

(純資産)

純資産は41億38百万円となり、前連結会計年度末に比べて30百万円増加いたしました。主な内容は、親会社株主に帰属する四半期純損失56百万円、為替換算調整勘定の増加60百万円等であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、37.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

半導体市場は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのテレワークやリモート会議等に対するシステム需要に伴うデータセンター及びPC向けの需要増加により、ハードディスク、光ファイバーともに市況は依然堅調に推移したことに加え、自動車及び部品向けの需要に若干の回復の兆しが見られたものの、売上高は当初予想を下回る見込みであります。相対的に利益率の高い製品の売上構成が高まったこと等により営業利益は大幅に上回る見込みであるものの、為替の影響により経常利益は修正なしとし、親会社株主に帰属する当期純利益は連結子会社の工場移転に伴う固定資産の除却による減損損失の計上及びERPシステムの切り替えに伴う固定資産の除却による減損損失の計上により前回公表予想を下回る見込みとなりました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,600	百万円 150	百万円 110	百万円 70	円 銭 5.93
今回発表予想(B)	7,100	300	110	△50	—
増減額(B-A)	△500	150	—	△120	—
増減率(%)	△6.5%	200%	—	△171.4%	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	7,338	△170	△165	△78	△6.67

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,737,370	2,624,308
受取手形及び売掛金	1,639,715	1,754,482
電子記録債権	170,719	187,075
商品及び製品	628,984	751,854
仕掛品	1,313,961	1,233,079
原材料及び貯蔵品	395,802	438,468
その他	275,116	420,251
貸倒引当金	△3,962	△4,092
流動資産合計	7,157,707	7,405,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,845,067	4,831,123
機械装置及び運搬具	2,992,833	3,019,802
工具、器具及び備品	366,321	346,872
土地	1,084,328	1,082,144
リース資産	722,572	747,729
建設仮勘定	66,412	119,801
減価償却累計額	△6,739,972	△6,925,769
有形固定資産合計	3,337,563	3,221,703
無形固定資産		
ソフトウェア	120,112	22,737
電話加入権	377	377
無形固定資産合計	120,490	23,115
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
退職給付に係る資産	295,568	204,131
繰延税金資産	4,419	2,987
その他	108,968	67,547
貸倒引当金	△819	△819
投資その他の資産合計	418,136	283,847
固定資産合計	3,876,190	3,528,666
資産合計	11,033,897	10,934,093

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	774,631	633,277
短期借入金	400,000	400,000
1年内償還予定の社債	219,200	180,000
1年内返済予定の長期借入金	871,918	1,078,172
リース債務	91,921	87,090
未払金	498,597	262,776
未払法人税等	85,131	36,633
賞与引当金	92,712	20,562
株式給付引当金	40,166	-
関係会社整理損失引当金	129,001	23,619
その他	407,254	453,833
流動負債合計	3,610,535	3,175,965
固定負債		
社債	302,500	142,500
長期借入金	2,251,332	2,920,346
リース債務	338,431	300,926
繰延税金負債	284,718	235,270
退職給付に係る負債	124,581	-
その他	14,313	20,965
固定負債合計	3,315,878	3,620,009
負債合計	6,926,413	6,795,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,365,898	2,365,898
資本剰余金	1,912,110	1,912,110
利益剰余金	68,007	11,836
自己株式	△129,910	△104,086
株主資本合計	4,216,105	4,185,757
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△108,621	△47,639
その他の包括利益累計額合計	△108,621	△47,639
純資産合計	4,107,484	4,138,118
負債純資産合計	11,033,897	10,934,093

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	5,666,851	5,237,783
売上原価	3,928,813	3,279,542
売上総利益	1,738,038	1,958,240
販売費及び一般管理費	1,844,824	1,702,335
営業利益又は営業損失(△)	△106,786	255,904
営業外収益		
受取利息	6,019	4,891
受取配当金	360	360
為替差益	7,486	-
移転補償金	2,720	-
雑収入	9,367	5,216
営業外収益合計	25,953	10,467
営業外費用		
支払利息	29,382	32,720
支払手数料	5,203	17,202
為替差損	-	91,284
支払保証料	2,513	1,638
その他	1,179	496
営業外費用合計	38,278	143,342
経常利益又は経常損失(△)	△119,110	123,029
特別利益		
固定資産売却益	78	16,278
特別利益合計	78	16,278
特別損失		
固定資産除却損	96	36,511
減損損失	-	136,832
本社移転費用	-	4,334
特別損失合計	96	177,679
税金等調整前四半期純損失(△)	△119,128	△38,371
法人税、住民税及び事業税	60,163	65,751
法人税等調整額	17,398	△47,951
法人税等合計	77,561	17,799
四半期純損失(△)	△196,690	△56,171
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△196,690	△56,171
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△55,699	60,982
その他の包括利益合計	△55,699	60,982
四半期包括利益	△252,390	4,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△252,390	4,810
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2020年12月21日開催の取締役会において、当社の連結子会社である日本研紙株式会社を吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

名称	Mipox株式会社
事業の内容	研磨関連製品の製造販売等

被結合企業(吸収合併消滅会社)

名称	日本研紙株式会社
事業の内容	研磨布紙、各種研磨材の製造販売等

② 合併の日程

合併決議取締役会	2020年12月21日
合併契約締結	2020年12月21日
合併期日(効力発生日)	2021年4月1日(予定)

③ 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、日本研紙株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併

本合併は、当社においては会社法第796条第2項に基づく簡易合併であり、日本研紙株式会社においては会社法第784条第1項に基づく略式合併に該当するため、それぞれの合併契約に関する株主総会の承認を得ることなく行うものであります。

④ 結合後企業の名称

Mipox株式会社

⑤ 引継資産・負債の状況

当社は、効力発生日をもって日本研紙株式会社の資産・負債及びその他の権利義務の一切を継承する予定であります。

⑥ その他取引の概要に関する事項

当社グループとして効率的な連結オペレーションを進める観点から、日本研紙株式会社を吸収合併することといたしました。重複業務の解消および人的資源等の活用を図り、当社グループ経営の効率化を図ることを目的としております。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※1 減損損失

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	減損損失(千円)
山梨県北杜市	基幹業務システム	ソフトウェア	75,112
MIPOX Malaysia Sdn. Bhd.	工場用建物及び 生産設備	建物及び構築物	61,426
		機械装置及び運搬具	269
		工具、器具及び備品	23
		小計	61,720
合計			136,832

当社グループは、事業用資産については、主として管理会計上の区分を基礎としてグルーピングを行っております。遊休資産及び処分予定資産等については個別に資産のグルーピングを行っております。

・基幹業務システム

当社は2021年2月9日開催の取締役会において、次期基幹システムへの移行導入を決議したことに伴い、更新後に使用が見込まれない当該既存システムについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として75,112千円を特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により算定しており、使用価値は使用が見込まれる期間の減価償却費相当額として算定しております。

・工場用建物及び生産設備

当社は2021年2月9日開催の取締役会において、連結子会社であるMIPOX Malaysia Sdn. Bhd. の工場の一部移転を決議しました。これに伴い、移転時に除却が見込まれる現存資産について、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として61,720千円を特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により算定しており、使用価値は使用が見込まれる期間の減価償却費相当額として算定しております。

※2 本社移転費用

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当社の本社移転に掛かる費用等を本社移転費用として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益及び包括利 益計算書計上額
	製品事業	受託事業	合計	
売上高				
外部顧客への売上高	5,264,288	402,562	5,666,851	5,666,851
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	5,264,288	402,562	5,666,851	5,666,851
セグメント利益又は損失(△)	48,355	△155,141	△106,786	△106,786

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益及び包括利 益計算書計上額
	製品事業	受託事業	合計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,671,060	566,723	5,237,783	5,237,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,671,060	566,723	5,237,783	5,237,783
セグメント利益又は損失(△)	263,416	△7,511	255,904	255,904

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「製品事業」セグメントおよび各報告セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、それぞれ「製品事業」セグメント61,720千円、全社資産75,112千円であります。